

## 平成 23 年度まちづくりミーティング in 東根

期日：11月14日（月）午後7時～8時30分

場所：東根地区公民館 参加者数14人

**Q. 東陽の里グラウンド人工芝化にともなう環境の整備をしてほしい。人工芝にすることにより大きな大会を開けるかもしれないが、環境にも対応していただきたいと思う。**

A. 環境問題については、ご迷惑をおかけしています。今業者と話し合いを進めながら取り組んでいます。その一つとして臭気の度合いの調査「臭気測定業務・臭気レベル監視測定業務」として行っています。10月27日に出ている臭気を採取し匂いの度合いを、10月24～11月7日2週間、24時間連続して調査しました。結果はまだ出ていませんが、これらの結果をもとに分析し業者と話し合いを進めていきたいと考えています。

また、長井市に養豚関係者がいて、その方に臭気の発生と対策についてご指導いただいているところであり今後できるものから対応して参ります。地域・事業者・町とで話し合うことが重要であり、住民の方にも参加していただき話し合いの場をつくっていききたいと考えていますが、日程調整等なかなか思ったように進んでいないというのが現状であります。

**Q. 悪臭に関連して、2週間の調査にアンケートとして参加した。結果はいつ住民に報告されるのか？**

A. 現在、理化学分析センターに依頼しています。おそらく今月中には結果がでるのではないかと思いますので、結果がでましたら早急にお知らせします。

**Q. 「中学校は平成 27 年度から統合中学校へ、小学校は当面はこのままという教育委員会の方針を町に提出した。」ということですが、そのような方向でお願いしたいが町の考えを聞きたい。**

町長：教育委員会では平成18年小中学校の統合を決定しました。その後、町では状況の変化を踏まえもう一度見直してほしいと要望しました。再度検討して

もらい、小学校の役割・中学校の課題等明らかにしていただきました。その結果、小学校はそれぞれの地域の歴史・文化を作った中心地域として、がんばっていただければまだ存続はできるということで現在のままとしました。中学校は進学、就職など子どもの社会性を重視するという観点から、統合が良いと教育委員会では決定したところです。

町では子どもを減らさないような取り組みを行っています。具体的な政策としては、中学生までの医療費無料化や母子手帳交付の際に3万円を支給している制度です。

町としてなるべく早い段階で決定させていただく予定であります。

**Q. 環境問題について。若者の定住ということで、働き場所・住む場所はとても大事。生まれてくる子どももそうですし、今住んでいる保育園児・小学生は環境問題について非常に敏感。特段のご指導をいただきたい。一方から見ると産業振興ではあるが、企業として公害は絶対に出してはならない責任があると思う。**

A. 産業振興の面と、環境ではご迷惑をおかけしている面があります。業者と積極的に関与し信頼関係を築き、同じテーブルで話し合うことで問題解決を図っていきたいと考えています。

**Q. 第5次総合計画の中で、6次産業化における既存の産業について。農業で生きられる仕組みづくりとあるが、考えがあれば聞かせてほしい。**

A. 農業のありようは根底から見直す必要がある。

TPPの内容についてはまだ不透明な部分が多くあります。日本の農業を守るためのスキームすら見えてこない状態です。それに安易に賛成・反対していいものか。国が明確な方針を示すべきであり、それを受けて町の農業をどうするか考えていくべきと思います。

**Q. 町立病院の充実について。子育て支援にかかわり、婦人科・小児科の対応ということも含めて、第5次総合計画のまちづくりの中での町立病院について考えがあれば教えてほしい。また、住民の方からも職員の方の対応が丁寧・親切だという声もある。ぜひ・・・**

A. 婦人科・小児科については近くにあってほしいものです。しかし、現在置賜地区ではお産が可能な施設は公立置賜総合病院・米沢市立病院・三友堂病院の3箇所です。お産する施設は、産婦人科医2人・小児科1人の体制が必要であるということ、医療ミス時等の訴訟、ミスがあればすぐ逮捕に至るということもあり、若者でなりたい人がいなく医師不足という現状であります。要望しても応えてもらえない状況があり、当分は産婦人科・小児科は大変な状況であると考えています。町立病院は町の安心・安全の拠点として整備をしていかねばならないと考えています。

**Q. 震災を受け、杉沢地区は抜け道がないため逃げ場がない。転出により戸数も減少してきている。今、上杉沢地区では住民が立ち上がり、道路幅を測定したり草を刈ったりと小山沢側の整備をしようと頑張っている。なんとか逃げ道を作れないかという住民の希望を叶えてもらえないか。**

町長：道路をつくることは大事なことです。これからはドクターヘリや防災ヘリの活用も考えているところです。町では衛星携帯2台も配備しました。緊急時に対応できるような対策にしたいと考えています。

これまでの防災計画は参考にならないほどの大きな災害でした。終わってから計画内で企業との協定を思い出したということもあったり、これまできちんと確認をしていなかったという反省をふまえて、防災計画を見直す必要があると考えています。

**Q. 道路を作れというのではなく、道路幅はあるのだから通れるように整備してほしい。ヘリ等についての説明はわかる。しかし住民は、緊急の場合ヘリが来るまで待てないから自ら立ち上がっている。検討をお願いしたい。**

A. 今後検討して参ります。

**Q. 3月の震災のときのように長時間の停電となると電話が繋がらないことが一番苦しかった。防災無線は町にはあるが、各公共施設には発信受信する手立てがない。三陸の町村では全て体制が整っていたにもかかわらず被害がでた。せめて小学校、中学校、公民館に防災無線の配置等検討いただきたい。**

A. 各地区に避難場所の指定はしていますが、通信手段までは考えていなかったなので課題としてとらえています。これから防災計画の見直しを行っていく中で検討して参ります。

**<要望>**

①旧道、東根小学校より北側の部分、舗装されていないため雨が降ると歩道側に水溜りができる。車が通ると学童に水がかかる状態。これから冬場に向けて冷たい水がかかるとかわいそうなので、ぜひ水のかからない道路の整備をお願いしたい。

②旧道において道路は整備が進んでいるが、歩道がだんだんと斜めになり歩きにくい状態。子どもたちが歩きやすいようにしてほしい。

③東陽の里グラウンドについて。利用者数 7,800 人、利用日数 150 日と利用されているのでぜひ人工芝に。現在、グラウンド整備のときに砂ぼこりが舞い、周辺に被害。ほこりが飛ばないようにグラウンドの整備をお願いしたい。